

平成29年度 第4次人吉市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）報告書

人吉市役所における温室効果ガス総排出量等について

1 はじめに

本市では、地球温暖化対策に積極的に取り組むため「第4次人吉市地球温暖化対策実行計画」を策定し、市の事務・事業活動に伴う温室効果ガス総排出量を平成33年度において、基準年度となる平成25年度と比較し3%削減することを目標としています。

このほど、平成29年度の温室効果ガス総排出量等や、取組み状況についてとりまとめましたので報告します。

2 平成29年度の温室効果ガス総排出量算定結果

平成29年度における人吉市の事務・事業活動に伴う温室効果ガス総排出量は二酸化炭素換算で3,613トンでした。平成25年度の温室効果ガス総排出量4,634トンと比較すると1,021トン（22%）の大幅な減少となりました（図1参照）。

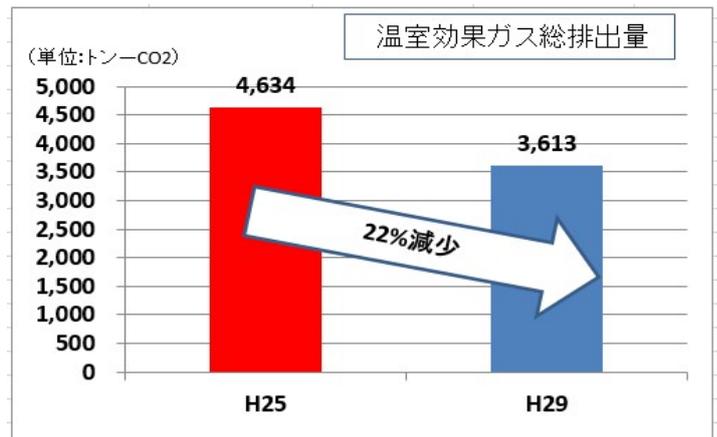


図1 温室効果ガス総排出量

本市においては、平成29年度の温室効果ガス排出割合の約8割（76.6%）を電気使用量が占めています（図2参照）。

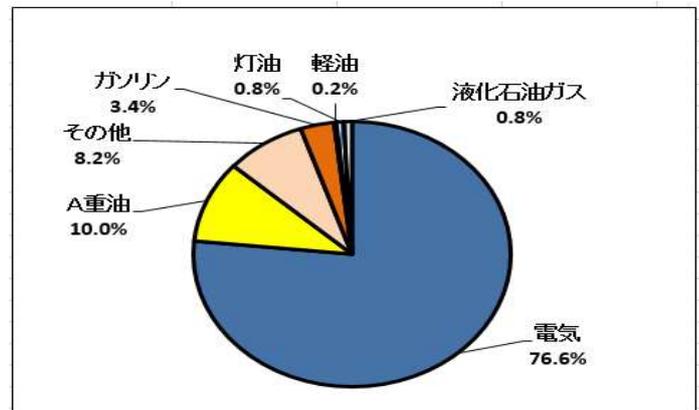


図2 エネルギー使用別温室効果ガス排出割合

3 エネルギー等項目別の目標達成状況について

平成29年度の電気使用量については職員の節電意識と、その取組みの成果により基準年度比で2,822kwh（5%）減少し、目標達成できました（図3参照）。

温室効果ガス排出割合の約8割を占める電気使用量が減少傾向にあることは、温室効果ガス排出の削減に大きく影響しています。

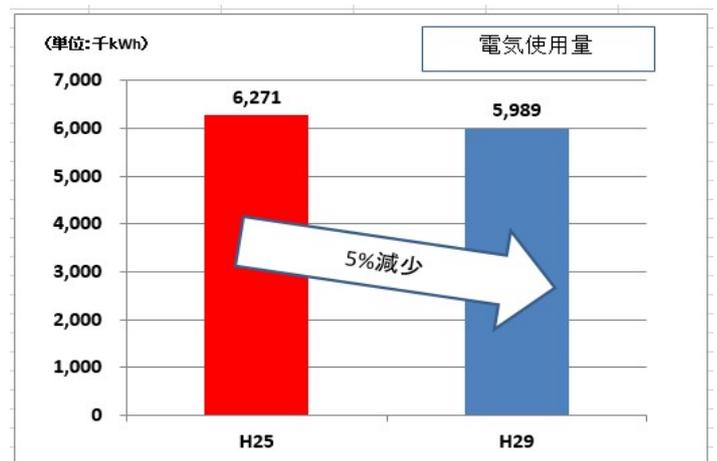


図3 電気使用量

「ガス使用量」「水道使用量」についてもそれぞれ省エネルギーの取組みが進み、削減目標を達成できました。

しかし「燃料使用量」「紙類使用量」「一般廃棄物」の項目については、目標達成しておりません（図4・表1参照）。

「紙類使用量」の増加要因としては、全庁的な事務事業量の増加が考えられます。

「一般廃棄物」は基準年度比1%の微増という結果でした。

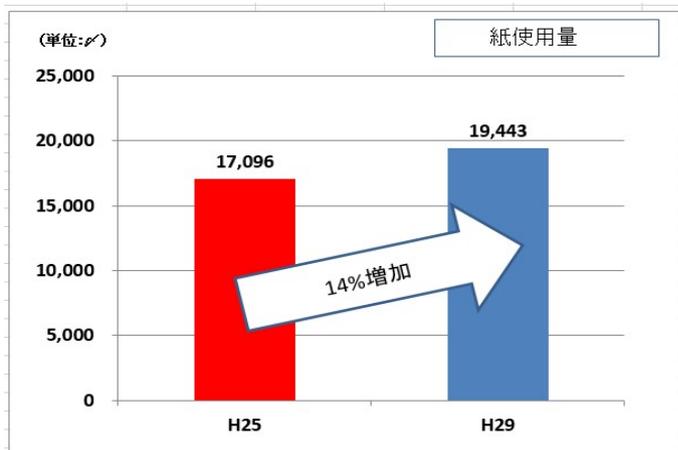


図4 紙類使用量

表1 エネルギー項目別目標達成状況

項目	削減目標	平成25年度 (基準年度)	平成29年度	対基準年度比増減
1.電気使用量	3%	6,271,182 kWh	5,988,782 kWh	5%減少 (目標達成)
2.燃料使用量	3%	202,879 ℓ	199,322 ℓ	2%減少
3.ガス使用量	3%	13,184kg	10,154kg	23%減少 (目標達成)
4.水道使用量	3%	103,366m ³	93,146m ³	10%減少 (目標達成)
5.紙類使用量	2%	17,096枚	19,443枚	14%増加
6.一般廃棄物	2%	91 t	92 t	1%増加
7.環境配慮型製品の購入の推進	優先的に購入	職員実践状況チェックリストの平成29年度 (平成30年3月) の回答で、50%以上の職員が実践できていると回答した課等：94% (30/32)		

4 まとめ (今後の取り組み)

平成29年度の温室効果ガス排出量は、基準年度比で22%の減少となり、削減目標の3%を大幅に上回る喜ばしい結果となりました。

この要因は、温室効果ガスの排出割合の約8割を占める電気使用量の減少に加え、温室効果ガス総排出量の算定の際に用いる「平成29年度の電気の排出係数※」が基準年度比で25%減少したことが、大きく影響しています。

しかし、紙類使用量に関しては過去最高の使用量でした。このため、今後は刊行物や会議資料等の印刷部数の適正化やデジタル保存の推進、ミスプリント防止等の全庁的なペーパーレス化の取り組みが急務です。

地球温暖化は、日常生活や事業活動などに伴って排出される二酸化炭素などの温室効果ガス排出量の増加に起因しており、生態系や自然環境などに大きな影響を与える重大な環境問題のひとつです。今後とも、3R (リデュース、リユース、リサイクル) の徹底など、目標達成に向けた一人ひとりの継続的、かつ自主的な地球温暖化対策を推進していくことが必要です。

※電気の排出係数：一定の電力を作り出す際にどれだけの二酸化炭素を排出したかを推し測る指標